

研究テーマ

子供の確かな学びを育む授業づくり

～体験的、实际的な活動における

教科の特性と子供の実態を踏まえた支援の構想～

第2年次

開催日: 令和5年12月1日(金)

研究会 参加者 アンケート

対面・オンライン
ハイブリッド開催

参加者満足度

とてもよかった 69.1%
よかった 30.9%

<参加者の皆様>

- ・ 県内小、中、高校、特別支援学校教員
- ・ 県外特別支援学校教員
(青森、山形、埼玉、静岡、愛知、福岡、
宮崎等)
- ・ 県内福祉事業所職員
- ・ 保護者
- ・ 学生

参加者の声

活動に入る前に、子供たちに**目的意識をしっかりと**もたせ、意欲的に活動できるようにして参考になりました。

(小学部参観者)



県外からの参加でしたが、学習指導要領の文言の解釈や授業の組み立て方などが新鮮で、**自分の視野が広がる有意義な研修**になりました。

(中学部参観者)



数学の授業を参観し、**生単ありきで考えていた時とは、資質・能力で意識するレベルが変わってくる**と感じました。

(中学部参観者)



国語の「聞くこと」の授業を参観し、**子供の「聞きたい」気持ちを引き出しながら、「聞く力」を付けていける授業づくり**を考えていきたいと思いました。

(高等部参観者)



児童がじっくり考えながら自分で言葉を選んで話す姿が印象的でした。**児童が「できた！」を実感できる授業展開**だったと思います。

(通級参観者)



複数のカメラでの配信で、**随所に環境構成や支援具の工夫**が見られ参考になりました。ハイブリッド開催はありがたかったです。

(オンライン参観者)



第45回 特別支援教育研究会

研究・実践ページ→

新潟大学附属特別支援学校

